

株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

第55期 株主通信 | 2024.4.1 ▶ 2025.3.31

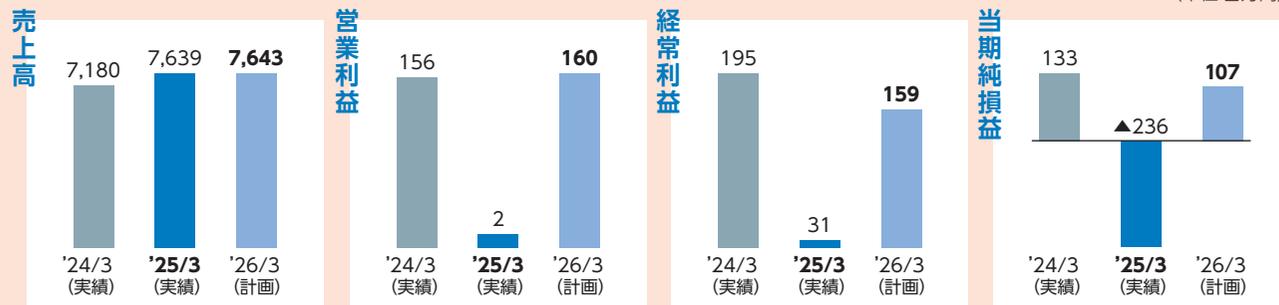
特集

今年度より
技術本部が
発足しました



証券コード
東証スタンダード市場 5162

第55期 連結財務ハイライト



ごあいさつ

技術基盤の稼ぐ力を高めて、重点事業のさらなる成長を目指してまいります。

5月30日に、当社社外取締役の馬場正治氏が急逝されました。2015年に取締役に就任いただいて以降、豊富な経験と見識を活かして多くの指針をご教示いただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2025年3月期は、重点事業環境の変化にいち早く対応し、第14次三ヵ年中期経営計画に沿って新たな事業構築を積極的に取り組みました。光学事業強化のために自動車内装照明用ASA COLOR LEDの資産の減損処理を行うことになりましたが、国内工場では自動車用製品の新たな生産体制の構築や合理化投資を進めることで、お客様へのさらなる価値提供につながる施策を積極的に展開しております。また、医療・ライフサイエンス事業では、第二の柱への成長を促す商社機能を持った新たな販売子会社である株式会社朝日フロントメディックを設立し、「朝日ラバーらしさで世界の医療現場と患者のQOL向上に貢献する」をスローガンに飛躍に向け

た活動が始まりました。

第14次三ヵ年中期経営計画の最終年度となる2026年3月期の業績見通しは、改善傾向ではあるものの目標に達しない見込みとなりますが、新たに技術本部を設置して技術基盤の成長を元手に稼ぐ力を高めて、選択と集中による新製品開発と生産性の向上をさらに加速させる取り組みを進めてまいります。グローバルな通商政策の影響は不透明な状況が続きますが、医療・ライフサイエンス事業や機能事業で、これまでに準備してきた取り組みが市場に貢献し、実績として計上し始める年となります。

株主の皆様におかれましては、今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

渡邊 陽一郎



組織変更を行った狙いや今後の展望をご紹介します！

技術本部が発足しました

技術基盤を再構築して「稼ぐ力」をつけるために、技術体制の見直しを行いました。より一層技術の魅力を高めて社会に貢献してまいります。



各工場で製造している製品が異なるため、お客様から寄せられたご要望は製品ごとに各工場の技術担当が個別に対応していました。



技術本部集約のメリット

- 技術者同士で技術の共有が可能に
- 技術を伝承させ次世代を育てる
- 本部全体でODMを推進
- 効率化によりコスト競争力を高める

朝日ラバーならなんとかしてくれる！



技術本部長へインタビュー

今年度より「稼ぐ力」を高めるために技術本部を新設しました。本部長から発足の経緯や今後の展望を語っていただきました。

専務取締役 事業・品質保証担当
技術本部長
株式会社朝日FR研究所 代表取締役社長

大槻 尚文さん

経歴

- 1995年 4月 当社入社
- 2014年 4月 福島工場技術グループ長
- 2016年 9月 東莞朝日精密橡膠制品有限公司 董事長兼 総経理就任
- 2024年 6月 当社取締役就任
- 2025年 3月 株式会社朝日FR研究所 代表取締役社長就任(現任)
- 2025年 4月 技術本部長就任(現任)
- 2025年 6月 専務取締役就任(現任)

技術本部を設立した背景は何ですか？

今までは工場ごとに分かれて技術者が活動しており、それぞれの工場での文化や風土をベースに技術力が育ってきました。今回組織を一つにしたことで工場間の隔たりがなくなり、技術者同士の横のつながりが新たに生まれることを期待しています。また、リソースを集中し、技術力の良いところを共有して高めていくことで、会社全体の底上げを含めて成長につなげていきたいと考えています。

技術本部が目指すところは？

これからの事業基盤として、部品を製造するOEMから、設計や機能を提案するODMへの変革をビジョンとして掲げています。ODM実現のために

は当社が持つ3つのコア技術を複合化させていくことが大事だと考えています。複合化するなかで当社が有していない技術が必要になる機会が増えるので、当社で高める部分と他社と連携する部分はメリハリをもって進めていきたいです。これから新たな学びや、経験を積むことで成しえることも多くあると思うので、その経験を通じて技術者全体が高めあうような組織にしていきたいですね。

技術力をどのようにアピールしていきますか？

技術者自身が当社の技術の強みを正しく認識した上で、技術力をより高めていくという活動が重要だと考えています。当社は同業他社とは違った特徴を持つ技術が多くあるので、その技術をどの方向に活かし提案をするのかに関しては営業部門と連携し、しっかりと当社の技術を知っていただくというプロモーション活動も重要であると感じています。

技術力を高めるために、どういった思いを大事にしたいですか？

当社ではいろいろな技術を持っていても、技術者自身が狭い領域のなかで仕事をする環境が続いていました。これまでと違う角度や視点から物事を見ようと思った際に、横のつながりから新しい価値を提案・提供できるような方向を向くことが大切だと思っています。そのような提案ができる基礎に加えて、当社の技術をより知っていただくことで、最終的には当社の「稼ぐ力」につながっていくと考えています。そうした意識を技術本部全員で共有して進めていきたいです。

本部長インタビューは YouTubeでもご覧いただけます！
URL https://youtu.be/_t4fAwnaAc



TOPICS 01

採用公式のInstagramアカウントを開設しました

工場や本社のリアルな様子を学生へお届けするため、採用公式としてInstagramのアカウントを開設しました。各拠点で普段どのような仕事をしているか、休憩中の雰囲気や採用活動にまつわることなど、できるだけ日常を切り取った様子を写真や動画を使ってご紹介しています。



TOPICS 02

主要拠点で使用する電力がすべてCO₂フリーになりました

2025年5月より、国内の主要拠点（国内4工場及び本社ビル）で使用するすべての電力がCO₂フリー電力となりました。また、白河工場と白河第二工場の敷地外周部の空き地に太陽光パネルを増設し、4月より発電を開始しています。今後も省エネルギー活動と電力の有効活用を推進してまいります。



株式の状況 (2025年3月31日現在)

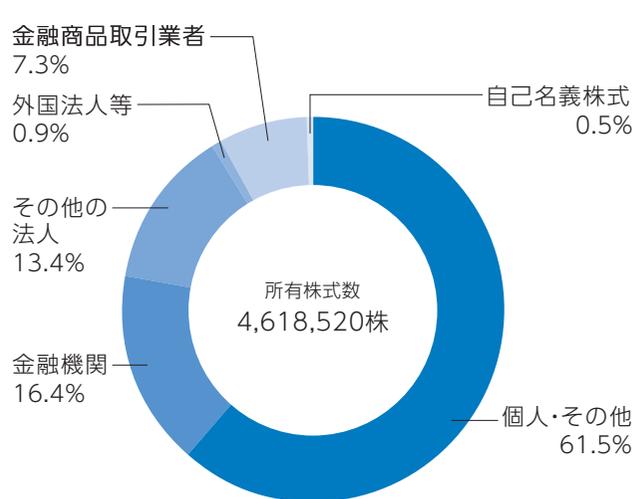
発行可能株式総数 11,500,000株
 発行済株式の総数 4,618,520株
 株主数 3,091名

大株主 (2025年3月31日現在)

株主名	株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.4%
朝日ラバー従業員持株会	235,528	5.1%
佐藤 尚美	228,700	5.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.8%
朝日ラバー共栄持株会	209,600	4.6%
株式会社東邦銀行	207,400	4.5%
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3%
株式会社SBI証券	141,779	3.1%
横山 林吉	140,260	3.1%
第一生命保険株式会社	78,000	1.7%

※1 持株比率は自己株式(25,177株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況 (2025年3月31日現在)



会社概要 (2025年3月31日現在)

商 号 株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.)
<https://www.asahi-rubber.co.jp/>
 所 在 地 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 設 立 1976年6月 (創業1970年5月)
 資 本 金 5億1,687万円
 証 券 コード 東証スタンダード市場 5162
 正 社 員 数 319名
 主 な 業 務 内 容 工業用ゴム製品の製造・販売
 主 な 事 業 所 本社:埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
 大阪営業所/名古屋営業所/福島工場/
 第二福島工場/白河工場/白河第二工場
 役 員
 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
 専務取締役 大槻 尚文
 取締役 滝田 充
 取締役 堀 信幸
 取締役(監査等委員) 田崎 益次
 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝磨
 取締役(監査等委員)(社外) 渡部 修

※2025年6月27日現在

見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。
 Easy to read universal design
 fonts that are used.

